

2024年5月10日

報道関係者各位

日本歯磨工業会

2024年度 歯と口の健康週間にあたって

日本歯磨工業会（会長 濱 逸夫）では、歯と口の健康週間（6月4日～10日）に向けて例年どおり口腔衛生を呼びかける歯と口の健康啓発ポスターを制作し全国にお届けします。

本リリースでは、「歯と口の健康週間」に関連する取り組みと当工業会の活動についてご紹介します。

『歯と口の健康週間の沿革』

「歯と口の健康週間」は、国民に対する歯科衛生思想の普及運動として1928年6月4日に「むし歯予防デー」の名称で行われたのに始まり、以後、戦時中一時中断しましたが1949年から週間行事となりました。1952年には6月4日から10日までの1週間に定められ、1958年より「歯の衛生週間」として毎年実施、2013年より「歯と口の健康週間」として新たにスタートしました。

『2024年度 歯と口の健康週間について』

目的：この週間は、歯と口の健康に関する正しい知識を国民に対して普及啓発するとともに、歯科疾患の予防に関する適切な習慣の定着を図り、併せてその早期発見および早期治療等を徹底することにより歯の寿命を延ばし、もって国民の健康の保持増進に寄与することを目的とする。

標語：「歯を見せて 笑える今を 未来にも」

（和歌山県海南市立下津第二中学校 2年 森下雄心さん作）

本年度重点目標：生きる力を支える歯科口腔保健の推進～生涯を通じた8020運動の新たな展開～
歯と口は国民が健康に生きていく力を支えるものであり、歯科疾患の予防や歯と口の健康を保持する取り組みを進める必要があることから、「生きる力を支える歯科口腔保健の推進」を重点目標とする。

実施期間：2024年6月4日（火）～同年6月10日（月）まで

主催：厚生労働省、文部科学省、日本歯科医師会、日本学校歯科医会

< 1 > 2024年度 歯と口の健康啓発ポスターの配布

当工業会では、例年どおり今年も口腔衛生を呼びかけるポスターを制作し、全国にお届けいたします。

『企画・制作』 厚生労働省、文部科学省、日本歯科医師会、日本学校歯科医会および日本歯磨工業会

『デザイン』 アランジアロンゾ (B3サイズ 多色刷り)

『2024年度 標語』 「歯を見せて 笑える今を 未来にも」

【日本学校歯科医会】が募集した小中学校の標語の中から和歌山県海南市立下津第二中学校2年の森下雄心さんの作品が選定されました。

「8020運動を進めよう」(厚生労働省・日本歯科医師会が提唱する口腔保健の目標)

「一生、自分の歯で食べよう」(日本歯科医師会の標語)

「歯みがきで心と体を健やかに」(日本歯磨工業会のコンセプトメッセージ)

『配布』

ポスター26万枚を作成し、全国の小・中学校をはじめ、保健所、歯科医院、各関係官庁、協力団体などへ配布し、口腔保健の大切さ、毎食後の歯みがきの大切さを呼びかけています。2024年からは、ご要望にお応えし、当工業会ホームページからPDF版ポスターのダウンロードも開始しました。

『活用』

このポスターは、歯と口の健康週間だけでなく、「口腔保健の必要性を訴求する年間ポスター」としてご活用をお願いしています。「歯と口の健康週間(6月4日～10日)」後は、下部の日付部分を切り取って、ご使用いただけるレイアウトにしています。



2024年度 歯と口の健康啓発ポスター

< 2 > ホームページからの情報発信について

「みがこうネット」(<https://www.hamigaki.gr.jp/hamigaki2/>)では、新たなコンテンツの追加、情報の更新など、生活者のみなさまへ歯や歯みがきに関する情報を発信しています。また、「工業会サイト」(<https://www.hamigaki.gr.jp/>)では、歯磨出荷統計の掲載など工業会の活動の様子を適時伝えています。

1. 2023年度の「みがこうネット」からの主な情報発信

(1) 歯みがき啓発のための読者参加型キャンペーンの継続実施

①歯と口の健康週間企画「第3回コンセプトメッセージキャンペーン」(4月～6月)

「歯みがきで心と体を健やかに」をテーマとするイラスト募集・穴埋めクイズを実施。

応募総数 7, 224件 (穴埋めクイズ6, 994件、イラスト230件)

※ともに過去最高の応募件数となり、2024年度も継続実施することといたしました。



日本歯磨工業会会長賞



優秀賞の一例



佳作の一例



キッズ優秀賞の一例

②第12回「クイズに答えて『歯カセ』になろう！歯みがきクイズキャンペーン」(8月～10月)

応募総数 8, 308件 期間中、ホームページのアクセス数も平常月の4倍に増加。

(2) 日本歯磨工業会サイトリニューアル(12月実施)

清潔感あるイメージはそのままにデザインを一新。画面サイズに応じて各コンテンツを見やすく表示するレスポンシブデザインを採用しました。



(3) アニメ「がんばれ！みがく君」更新(2回)

「第36話 歯みがきはなぜ『小刻み』？」(ブラッシングのコツを紹介) 3月

「第37話 白い歯をキープするには」(着色汚れの素、予防方法を紹介) 9月

2. 「みがこうネット」の2024年度コンテンツ制作・更新予定

(1) 歯みがき啓発のための読者参加型キャンペーンの継続実施

①歯と口の健康週間企画「コンセプトメッセージキャンペーン」(4月～6月)

「歯みがきで心と体を健やかに」をテーマとするイラスト募集・穴埋めクイズを実施。

②第13回「クイズに答えて『歯カセ』になろう！歯みがきクイズキャンペーン」(8月～10月)

(2) 新コンテンツ「全身の健康維持に大切な年代別のお口のケア」制作中(11月掲載予定)

(3) 各コンテンツの更新

- ・はみがきカレンダー(年4回更新)
- ・がんばれ！みがく君(年2回更新、「この春デンタルフロス始めませんか」を4月に公開)
- ・メールマガジンの継続発行(キャンペーン開始・新コンテンツの告知)

3. 歯と口の健康週間企画

●日本歯磨工業会 コンセプトメッセージ浸透キャンペーン(4月～6月)

日本歯磨工業会コンセプトメッセージ「歯みがきで心と体を健やかに」の趣旨を広く啓発することで歯と口の健康への関心を高めます。

A賞：「歯みがきで〇〇〇を健やかに」の空欄に答えると正解者の中から抽選で100名様に500円の図書カードを進呈

B賞：コンセプトメッセージ「歯みがきで心と体を健やかに」の文字に色や飾りをつけた作品を募集し、コンセプトにあった素敵な作品を表彰。日本歯磨工業会会長賞10万円、優秀賞5万円×3名、キッズ優秀賞(5千円の図書券×3名)、佳作(オーラルケアセット5千円分×10名)

< 3 > 啓発冊子の配布

オーラルセルフケアの重要性や効果的なケア方法を解説する冊子を適宜改訂しながら配布しています。

●保健指導者向け「お口のセルフケアハンドブック 歯みがきで心と体を健やかに」(B5版33ページ)

2023年7月には、「ウイルス感染症と口腔ケアの関係」「災害時のお口のセルフケア」の新規ページを制作し、増補版PDFをホームページで公開、ダウンロードできるようにしました。

●歯科専門家向け「歯磨剤の科学」(B5版、データ図表多用)

< 4 > 日本歯磨工業会の最近の主な活動のご紹介

1. 令和6年能登半島地震への支援物資の提供

避難生活のなかでも口の中を清潔に保つことができるよう、関係省庁、地域行政などと連携し、当工業会加盟各社からハミガキ、ハブラシ、液体ハミガキ、洗口液、義歯ケア製品などを支援物資として提供しました。

2. 地球環境問題への取り組み

「プラスチック資源循環促進法」への対応として2023年5月に発表した「オーラルケア製品に関

する環境設計のためのガイドライン」(<https://www.hamigaki.gr.jp/hamigaki1/pdf/guideline.pdf>)に基づき、加盟各社が、植物由来原料を配合したバイオマスプラスチックの採用、容器包装材や製品のプラスチック使用量削減など、環境負荷低減の取組みを進めています。

3. 学会における口腔ケアの有用性啓発への取組み

2023年9月18日、日本歯科衛生学会第18回大会で「with コロナ時代における口腔衛生の意義ー感染症の予後を分ける口腔ケアの重要性ー」と題したランチョンセミナーを、日本大学歯学部 感染症免疫学講座 今井健一教授を講師に招き開催しました。当日は、歯科衛生士など183名が参加し、9割の方が「日々の活動に役立つ」と回答、口腔ケアの有用性の理解促進を図りました。

4. 東南アジアオーラルヘルスケア向上支援への取組み

2024年1月15日～19日、経済産業省と日本歯磨工業会共催で、ベトナム、インドネシアの口腔ケア関係の研修生27名（ベトナム13名、インドネシア14名）を日本に受け入れ、工業会加盟各社が協力し、歯科医師・歯科衛生士による日本の口腔ケア指導の講義、ハミガキ工場、歯科診療所、ドラッグストアの見学を実施しました。

5. 歯科衛生士養成校、歯科衛生士会等での特別授業（講演）開催

日本歯磨工業会では技術委員会が中心となり、歯みがきに関する正しい情報を提供することを目的に、1993年から毎年、歯科衛生士養成校および歯科衛生士会へ専任講師を派遣して特別授業、講演会を開催しています。2023年度の開催回数は25回（歯科衛生士養成校24回 歯科衛生士会1回）、本年度も積極的に活動します。

※これまでの累計実施実績（1991年～2023年）

累計実施校数(廃校除く)	118校	～全国の約7割～
延べ受講人数	34,075人	

■日本歯磨工業会について

国民の口腔衛生の普及・向上に寄与するとともに、健康産業として歯磨および関連業界の発展を図ることを目的とした団体で、行政官庁、関連業界、消費者団体等との情報交換、歯磨に関する情報提供、口腔衛生に関する健康啓発情報の発信を行っています。例えば、「歯と口の健康週間」に協力し、歯磨を通じての口腔衛生の普及・向上を図るキャンペーンを行っているほか、ISOなどの国際会議に積極的に参加し、歯磨剤等の国際規格作成にも協力しています。1971年6月に設立、会員14社、賛助会員14社が参加し、業務委員会、広報委員会、広告委員会、技術委員会、薬事委員会で活動しています。

本件のお問い合わせ先： 日本歯磨工業会 清原 隆生 TEL 03(3249)2511

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町2-4 三報ビル7F

TEL03-3249-2511 FAX03-3249-2513 <https://www.hamigaki.gr.jp/>

<2024年「歯と口の健康週間」会長メッセージ>

2024年「歯と口の健康週間」にあたって

日本歯磨工業会 会長

濱 逸夫

本年は年頭に「令和6年能登半島地震」が発生し、多くの皆さまが被災されました。ここに、お亡くなりになった方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々に対しお見舞い申し上げます。

当工業会の会員企業からは、被災生活に必要なオーラルケア商品群のお届けなどを行っております。今後も、国、地域行政、参加企業各社と足並みをそろえ、被災された方々の健康をお守りするために速やかな対応を図って参ります。

2022年の日本人の平均寿命は、女性は87.09歳、男性は81.05歳と、過去最高を更新した2020年と比較して、2年連続で若干下回りましたが、平均寿命と健康寿命の差は依然として大きい状況が続いています。

政府は「国民皆歯科健診」に向けた取組みの推進を掲げておりますが、これは健康寿命の延伸、健康格差の縮小という、健康長寿社会実現のための国の課題と捉えられているからに他なりません。全身の健康は、お口の健康からといっても、決して過言ではありません。

当工業会といたしましても、乳幼児期から高齢期迄のすべてのライフステージにおける口腔衛生の普及に努め、より良い習慣として浸透させていくことが、全身疾患の予防につながり、国民の健康増進・健康寿命の延伸に貢献するものと考えております。

そのための重要な位置づけにある「歯と口の健康週間」が今年も6月4日から10日まで、全国的に展開されます。本週間の目的は、歯と口の健康に関する正しい知識を国民の皆様に対して普及啓発するとともに、歯科疾患の予防に関する適切な習慣の定着を図ることにあります。

当工業会では、2021年に策定したコンセプトメッセージ「歯みがきで心と体を健やかに」の下、国民の皆様健康づくりに繋がる生活者の行動変容に貢献し続けていくことが、社会的使命であると捉え、

今年も、厚生労働省、文部科学省、日本歯科医師会等と協力して「歯と口の健康啓発ポスター」の制作・配布を図ると共に、「コンセプトメッセージキャンペーン」などを幅広く展開し、官民一体となった広報活動による「歯と口の健康週間」の一層の盛り上げを図ってまいります。

当工業会で取り纏めた出荷統計によりますと、2023年（令和5年）の歯磨類全体の出荷金額は1,589億円となりました。昨年上期は円安・物価高騰の影響を受け、前年を下回りましたが、昨年トータルでは前年実績を上回り、堅調な成長を遂げ、17年連続で過去最高の出荷金額となりました。

当工業会及び会員各社による日々の活動に加え、コロナウイルス感染症の蔓延に伴う健康への希求の高まりにより、「お口の健康が全身の健康を保つ上でとても重要である」ことが徐々に認識されてきた結果であると考えております。

現在当工業会では、「歯と口の健康を通じて、人々の快適な生活の実現と健康寿命の延伸に貢献する」ことを使命と定め、その実現のために5つのビジョンと具体的な目標達成指標（KGI、KPI）を設定しながら、工業会活動の一層の活性化を目指しています。

皆様方には、今後とも格別のご支援、ご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。